



ひまわり

10月号

令和5年10月2日
江東区立南砂小学校
校長 石川千影
特別支援教室
小林加藤 中村 牧野
電話 (3645) 5008

前期の指導がもうすぐ終了します。夏休みが明けてもまだまだ残暑が続いていますが、子供たちはひまわり教室の授業に一生懸命取り組む様子が見られました。これも、保護者の方々や在籍学級担任の先生方のご理解とご協力があったのことであります。ありがとうございます。

後期は、在籍学級での学校行事が多い季節になります。普段と違う雰囲気苦手な子供もいます。保護者の方々や在籍学級担任の先生方と連携をし、子供たちがよい経験と感じられるような支援を考えていきたいと思っております。

10月の予定

在籍学級行動観察 10月 3日(火)～6日(金)

保護者面談 10月 3日(火)～31日(金)

後期指導開始 10月 10日(火)～

南砂小学校 4年生 ひまわり教室小集団指導体験

『困ったときの言葉』：困ったことが起きたときに

「〇〇なんですけど、どうしたらいいですか？」や

「〇〇なんですけど、△△してもいいですか？」を

使えるようになる

上記の内容の小集団指導を、9月19日(火)の5時間目に4年1組の子供たちが、6時間目に4年2組の子供たちが受けました。ひまわり教室の子供たちは、このグループ学習の授業を6月23日(金)～29日(木)に受けました。



授業を受けた4年生の感想に「わたしはこまることが何回もあるんで、今日ならったことをつかいたいです。」というものがありました。

ひまわり教室の子供たちも南砂小の4年生の子供たちも、困った場面を自分から解決できるように授業で習った言葉を使えるといいですね。

4年生の中には「ひまわり教室の個別学習は、45分間、先生と子供ですうっと集中して授業を受けるって聞きました。僕には無理だなあって思いました。」という感想を口にする子供もいました。